

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年5月15日

【四半期会計期間】 第42期第1四半期(自2020年1月1日至2020年3月31日)

【会社名】 株式会社小田原エンジニアリング

【英訳名】 Odawara Engineering Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 宮脇伸郎

【本店の所在の場所】 神奈川県足柄上郡松田町松田惣領1577番地

【電話番号】 0465 - 83 - 1122(代表)

【事務連絡者氏名】 代表取締役副社長 保科雅彦

【最寄りの連絡場所】 神奈川県足柄上郡松田町松田惣領1577番地

【電話番号】 0465 - 83 - 1122(代表)

【事務連絡者氏名】 代表取締役副社長 保科雅彦

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第41期 第1四半期 連結累計期間	第42期 第1四半期 連結累計期間	第41期
会計期間	自 2019年1月1日 至 2019年3月31日	自 2020年1月1日 至 2020年3月31日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高 (千円)	2,290,962	1,576,865	13,274,378
経常利益又は経常損失 ( ) (千円)	78,867	231,283	1,364,900
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 又は親会社株主に帰属する 四半期純損失 ( ) (千円)	49,379	187,724	1,011,108
四半期包括利益又は 包括利益 (千円)	73,696	221,461	1,007,805
純資産額 (千円)	11,992,447	12,553,048	12,950,601
総資産額 (千円)	16,996,786	20,623,186	19,580,671
1株当たり四半期(当期)純利益 又は四半期純損失 ( ) (円)	8.43	32.00	172.45
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	70.6	60.9	66.1

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。  
2 売上高には消費税等は含まれておりません。  
3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び連結子会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

(巻線機事業)

当第1四半期連結会計期間において、ドイツ駐在員事務所を閉鎖し、Odawara Automation Deutschland GmbHを新規に設立、連結の範囲に含めております。

この結果、2020年3月31日現在では、当社グループは、当社及び子会社9社により構成されることとなりました。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大は、今後の経過によっては、当社グループの事業活動及び収益確保に影響を及ぼす可能性があります。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間における我が国及び世界経済は、新型コロナウイルス感染症の急速な拡大、世界的なパンデミックの発生により、世界各国の経済活動は急速に停滞し、極めて厳しい状況となりました。

このような状況は、リーマン・ショックを超える過去に例を見ない極めて厳しい状況との声もあり、内外経済への影響は深刻なものと見込まれています。

このような状況下、巻線機事業において下期以降に売上を予定している案件が多いことに加え、送風機・住設関連事業において新型コロナウイルス感染症の影響もあり、売上高は1,576百万円(前年同四半期比31.2%減)となり、利益面につきましては、売上減少と巻線機事業の新規開発案件等により、営業損失は234百万円(前年同四半期は68百万円の営業利益)、経常損失は231百万円(前年同四半期は78百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は187百万円(前年同四半期は49百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### 巻線機事業

巻線機事業に関しては、受注残高は12,080百万円と前期末より若干増えたこともあり、生産は引き続き好調に推移しているものの、下期以降に売上を予定しているものが多いことから、売上高は654百万円(前年同四半期比48.6%減)、セグメント損失は105百万円(前年同四半期は184百万円のセグメント利益)となりました。

なお、当社グループの巻線機事業は、完全受注生産で、案件ごとに仕様やボリューム、納期、検収条件等が大きく異なるため、受注時期や売上時期が四半期並びに通期単位で大きく変動することがあります。

#### 送風機・住設関連事業

送風機・住設関連事業に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響による生産活動の停滞から、工作機械や産業ロボット向けを中心とする軸流ファンの需要が落ち込み、浴室照明器具、全館空調システムを含む住宅換気装置についても、新型コロナウイルス感染症の影響による物流活動の停滞から、主要顧客の建築部材が海外から入手困難となった影響を受けたこと等により売上が落ち込み、売上高は922百万円(前年同四半期比9.4%減)、セグメント損失は42百万円(前年同四半期は29百万円のセグメント損失)となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて8.3%増加し、14,487百万円となりました。これは主に、商品及び製品が1,142百万円、仕掛品が523百万円それぞれ増加し、現金及び預金172百万円、受取手形及び売掛金が785百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.2%減少し、6,135百万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて5.3%増加し、20,623百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて23.9%増加し、7,708百万円となりました。これは主に、短期借入金が3,000百万円、前受金が540百万円それぞれ増加し、支払手形及び買掛金が560百万円、未払金が1,222百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて11.5%減少し、362百万円となりました。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて21.7%増加し、8,070百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3.1%減少し、12,553百万円となりました。これは主に、利益剰余金が363百万円減少したこと等によるものであります。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は9百万円であります。なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	15,757,600
計	15,757,600

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年3月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年5月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,392,736	6,392,736	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	6,392,736	6,392,736		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年1月1日～ 2020年3月31日		6,392,736		1,250,816		1,580,813

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2019年12月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 525,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,848,800	58,488	
単元未満株式	普通株式 18,136		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	6,392,736		
総株主の議決権		58,488	

【自己株式等】

2019年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株)小田原エンジニアリング	神奈川県足柄上郡松田町 松田惣領1577番地	525,800		525,800	8.23
計		525,800		525,800	8.23

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,583,702	2,411,242
受取手形及び売掛金	1 4,104,217	3,319,074
電子記録債権	1 398,386	649,480
商品及び製品	2,107,368	3,249,785
仕掛品	2,989,863	3,513,360
原材料及び貯蔵品	661,343	665,510
その他	530,269	681,574
貸倒引当金	2,809	2,329
<b>流動資産合計</b>	<b>13,372,343</b>	<b>14,487,698</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	4,622,238	4,630,886
減価償却累計額	1,923,294	1,961,700
建物及び構築物(純額)	2,698,943	2,669,185
機械装置及び運搬具	1,621,975	1,629,255
減価償却累計額	1,119,395	1,148,919
機械装置及び運搬具(純額)	502,580	480,336
工具、器具及び備品	1,420,620	1,434,136
減価償却累計額	1,164,055	1,178,406
工具、器具及び備品(純額)	256,565	255,729
土地	1,578,886	1,578,651
建設仮勘定	16,071	9,866
<b>有形固定資産合計</b>	<b>5,053,047</b>	<b>4,993,769</b>
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	71,101	75,899
電話加入権	3,043	3,043
その他	1,157	111
<b>無形固定資産合計</b>	<b>75,302</b>	<b>79,054</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	353,151	293,240
退職給付に係る資産	288,959	287,786
繰延税金資産	409,101	456,638
その他	28,765	24,997
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>1,079,977</b>	<b>1,062,663</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>6,208,327</b>	<b>6,135,487</b>
<b>資産合計</b>	<b>19,580,671</b>	<b>20,623,186</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1 2,878,309	2,317,760
短期借入金	-	2 3,000,000
未払金	1,525,535	303,457
未払法人税等	372,860	36,252
前受金	1,097,184	1,637,929
賞与引当金	70,066	188,849
アフターサービス引当金	82,491	72,764
その他	194,689	151,115
流動負債合計	6,221,138	7,708,130
固定負債		
繰延税金負債	34,934	13,206
退職給付に係る負債	175,821	174,000
資産除去債務	19,940	20,021
その他	178,235	154,778
固定負債合計	408,931	362,006
負債合計	6,630,069	8,070,137
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,250,816	1,250,816
資本剰余金	1,816,387	1,816,387
利益剰余金	10,335,029	9,971,298
自己株式	369,003	369,089
株主資本合計	13,033,229	12,669,412
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89,194	46,505
繰延ヘッジ損益	16,697	36,302
為替換算調整勘定	188,520	199,173
その他の包括利益累計額合計	82,628	116,364
純資産合計	12,950,601	12,553,048
負債純資産合計	19,580,671	20,623,186

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	2,290,962	1,576,865
売上原価	1,686,799	1,237,426
売上総利益	604,162	339,438
販売費及び一般管理費	535,494	573,803
営業利益又は営業損失( )	68,668	234,365
営業外収益		
受取利息	590	145
受取配当金	150	90
受取賃貸料	2,486	1,252
受取保険料	-	5,080
作業くず売却益	2,931	2,184
その他	4,675	3,971
営業外収益合計	10,833	12,725
営業外費用		
支払利息	49	1,198
為替差損	-	7,920
減価償却費	583	523
その他	0	1
営業外費用合計	634	9,644
経常利益又は経常損失( )	78,867	231,283
特別利益		
固定資産売却益	602	-
特別利益合計	602	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	79,469	231,283
法人税、住民税及び事業税	59,950	16,467
法人税等調整額	29,859	60,026
法人税等合計	30,090	43,558
四半期純利益又は四半期純損失( )	49,379	187,724
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失( )	49,379	187,724

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失( )	49,379	187,724
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	421	42,688
繰延ヘッジ損益	18,615	19,605
為替換算調整勘定	6,123	10,652
その他の包括利益合計	24,317	33,736
四半期包括利益	73,696	221,461
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	73,696	221,461

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間より、新たに設立したOdawara Automation Deutschland GmbHを連結の範囲に含めております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が、前連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
受取手形	15,054千円	- 千円
電子記録債権	459	-
支払手形	56,858	-

2 当社及び一部の連結子会社は、取引銀行5行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当座貸越契約及び借入金未実行残高は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
当座貸越極度額	5,450,000千円	5,950,000千円
借入実行残高	-	3,000,000
差引額	5,450,000千円	2,950,000千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
減価償却費	77,694千円	104,487千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月28日 定時株主総会	普通株式	175,685	30.00	2018年12月31日	2019年3月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月27日 定時株主総会	普通株式	176,005	30.00	2019年12月31日	2020年3月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	巻線機事業	送風機・住 設 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,272,958	1,018,003	2,290,962	-	2,290,962
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	211	211	211	-
計	1,272,958	1,018,215	2,291,173	211	2,290,962
セグメント利益 又は損失( )	184,461	29,568	154,892	86,224	68,668

(注)1.セグメント利益又は損失の調整額 86,224千円の主なもの、各報告セグメントに配分していない全社費用であり当社の管理部門に係る費用等であります。

2.セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	巻線機事業	送風機・住 設 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	654,761	922,103	1,576,865	-	1,576,865
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	89	89	89	-
計	654,761	922,193	1,576,955	89	1,576,865
セグメント損失( )	105,363	42,154	147,517	86,847	234,365

(注)1.セグメント損失の調整額 86,847千円の主なもの、各報告セグメントに配分していない全社費用であり当社の管理部門に係る費用等であります。

2.セグメント損失は、四半期連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失( )	8円43銭	32円00銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失( )(千円)	49,379	187,724
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失( )(千円)	49,379	187,724
普通株式の期中平均株式数(千株)	5,856	5,866

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年5月14日

株式会社小田原エンジニアリング  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 鈴木基之 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 大竹貴也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社小田原エンジニアリングの2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社小田原エンジニアリング及び連結子会社の2020年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。